

# Primaff News

VOL.18 平成21年6月12日発行



平成21年度政策研究課題

東北大学との連携講座開設のお知らせ

新規採用の研究者を紹介します



— バラ（日比谷公園） —

## 平成21年度 政策研究課題

農林水産政策研究所の政策研究については、行政部局の政策研究ニーズを踏まえて適時適切な課題を選定し、関係部局との密接な連携の下で研究を進めながら、その成果を農林水産政策の企画・立案に反映させていくことが重要です。その際、重点的に取り組むべき分野を明らかにしつつ、必要に応じて中長期的な視点をもって研究を行うことが必要です。

このような考え方に基づき、行政部局からの課題募集を行う等により政策研究ニーズを把握し、当面の政策課題も踏まえ、平成21年度の政策研究課題を決定しました。

### 重点研究分野における政策研究

#### ① 食料の安定供給

- ・世界の食料需給の中長期的な見通しに関する研究
- ・二国間交渉の戦略的対応に資するためのEPA締結の影響及び関係国の政策の分析
- ・主要国の農業政策決定プロセス等に関する分析
- ・食品の生産・流通構造の変化を踏まえた農産物供給のあり方に関する分析
- ・国産牛肉に関する価格・流通構造の分析

#### ② 国内農業の体質強化

- ・水田・畑作経営所得安定対策導入に伴う農業経営・農地利用集積等の動向の分析

#### ③ 農山漁村の活性化

- ・効果的な農村活性化に向けた多様な主体との連携モデルの構築に関する研究
- ・教育交流による農村地域の振興への波及効果分析

#### ④ 環境対策

- ・新たな農林水産環境政策の社会経済的影響評価に関する研究

## ー東北大学との連携講座開設のお知らせー

農林水産政策研究所は、国立大学法人との研究交流の促進を図るとともに、大学における大学院教育の一層の充実と大学院生の資質の向上を図り、もって農林水産業に関する学術及び科学技術に寄与する観点から、国立大学法人の大学院生に対する教育指導等を行う制度を有しております。

その一環として、平成20年6月に東北大学大学院農学研究科と協定書を締結し、平成21年4月から同大学に以下の連携講座が開設されることになりましたので、お知らせします。

### ◆連携講座名◆

資源環境政策学講座

### ◆関係する研究者◆

香月 敏孝(当研究所総括上席研究官(農業・農村領域))

[委嘱辞令:東北大学教授(大学院農学研究科)(任期は1年間)]

吉井 邦恒(当研究所上席主任研究官(食料領域))

[委嘱辞令:東北大学准教授(大学院農学研究科)(任期は1年間)]

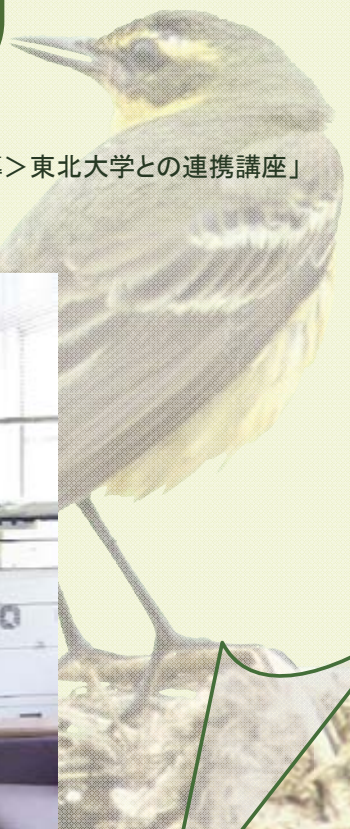
※ 連携講座の概要は、当所HPに掲載しておりますのでご覧ください。

「ホーム>研究概要>研究交流>国立大学の大学院生に対する教育研究指導>東北大学との連携講座」

→ <http://www.maff.go.jp/primaff/kenkyu/koryu/sido/touhoku.html>



協定書締結時の工藤農学研究科長(左)と齊藤所長



# 新規採用の研究者を紹介します



平成21年度に農林水産政策研究所に新規採用(任期待)された研究者を紹介します。



## 澤内 大輔 研究員

神奈川県横浜市出身  
平成15年3月 北海道大学農学部農業経済学科 卒業  
平成19年4月 日本学術振興会 特別研究員(～平成21年3月)  
平成20年3月 北海道大学大学院農学研究科 博士課程 修了  
平成21年4月より現職

大学院時代より農業環境政策学を専攻し、次の3つの研究を行ってきました。

第1に、環境経済学に関する実証研究です。農業環境モデルと国際経済モデルとを統合し、農産物貿易が農業生産および農業由来の環境負荷発生量に対し、どのような影響を及ぼすのかという点などを明らかにしてきました。

第2に、農業・農村の活性化に関する実証研究です。農村に存在する地域資源を有効に利用する取組といえるグリーン・ツーリズムや地場農産物の直売を対象として、アンケート分析や実態調査分析を実施してきました。

第3は、外国の農業経営実態に関する調査研究です。フィリピンやバングラデシュなどの発展途上国における酪農経営の実態や、アメリカとスペインの農業経営における移民労働力の利用実態の解明などです。

学術的な研究成果がどのように活用され社会に貢献していくのかに興味を持っています。政策研究所の業務は、自分が実施した研究と政策とが密接に関わっており、私はそこにこの仕事の魅力を感じています。同時に責任感、スピード感を持った対応、研究姿勢が必須である業務だと改めて認識しています。

現在は主に温室効果ガス排出量の削減などに関する環境経済学に基づいた研究に取り組んでいます。今後はこれまでの経験を生かし、多様な研究ニーズに応えていければと考えています。

## 編集後記

新緑美しい季節となりました。

当研究所に2名の任期待研究員が採用されたので、引き続き次号でも紹介していく予定です。

21年度の研究課題が決定されました。研究チームによる研究がスタートします。今年度も気持ち新たに取り組んでいきます。

## Primaff News

— 農林水産政策研究だより —  
VOL. 18 平成21年6月12日発行  
農林水産省農林水産政策研究所  
企画広報室広報資料課  
TEL : 03-6737-9012



※バックナンバーはHPをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/primaff/koho/seika/news>